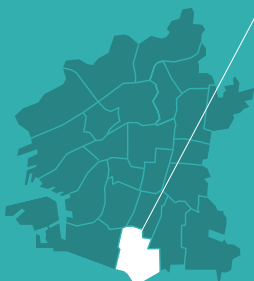


数字で見る経済

21 住吉区



大阪産業創造館までの時間距離

住吉区役所からの所要時間

実際に計測。地下鉄、南海電鉄利用。
電車の待ち時間を含む。

▶ 約40分

イノっちこと井上智之(いのうえ さとし)

1970年生まれA型。某シンクタンクで関西の産業振興に関する調査をしていたが、縁あって大阪都市経済調査会へ。俯瞰的な分析を徹底するクールさといつかは独立したいというアツイ野心を併せ持つが、泥酔すると昭和歌謡で突然踊り出す奇怪な一面も。

ペット関連ビジネスにチャンスあり！？ ～動物取扱業の事業所数が最も多い区～

住吉区は都心部の商業地や臨海部の工業地とは異なり、住宅地としての特徴を強く持っています。同区の全面積に占める住宅面積の比率をみると、39.1%と24区中2位(市全体21.3%、2000年)であり※、区内全域に住宅地が広がっています。また、同区の居住人口(161千人、2000年)に対する昼間人口(143千人)の比率は、88.7と24区中2番目に低く、昼間に通勤、通学で区内へやって来る人数(35千人)よりも区外へ出ていく人数(53千人)の方が多くなっています※。

産業別の事業所数構成比を見ても、「不動産取引業」(住吉区2.0% VS 全市1.2%、2004年。以下同様)、「医療業」(6.4% VS 3.5%)、「社会保険・社会福祉・介護事業」(1.2% VS 0.6%)、「洗濯・理容・美容・浴場業」(8.8% VS 4.5%)など、居住者向けの産業の割合では24区中1位のシェアを誇っています※。なかでも、ペットショップやペットホテルなどの動物取扱業は、事業所数構成比(0.4% VS 0.2%)だけでなく、事業所数でも24区中最多(27件、2004年)です(表)。

ペットフード工業会の全国調査によると、わが国ではペットの中でも犬が最も多くの世帯で飼育されています。大阪市への犬の登録頭数をもとに、2006年の飼育率を見ると、住吉区は市平均を上回っています(住吉区5.6%

VS 全市5.2%。以下同様)※。また、2005年の飼育率(4.8% VS 4.7%)と比較すると、住吉区は市平均よりも大きく増加しています(+0.8ポイント VS +0.5ポイント)※。

このように、住吉区をはじめ、大阪市ではペット関連のサービス需要が増大しているものと思われますので、今後、ペット同伴カフェ、ペット美容院、ペットシッターなど、ペット関連の産業集積が市内でより一層進展することが期待されます。

【表】動物取扱業の事業所数 トップ5区

区名	全産業 ※1 2004年	動物取扱業 ※2 2005年	構成比(%)
1. 住吉区	6421	27 *	0.4 *
2. 中央区	31060 *	25 *	0.1 *
3. 平野区	8732 *	25 *	0.3 *
4. 北区	27202 *	23 *	0.1 *
5. 西成区	7085 *	21	0.3
大阪市全体	203220	384	0.2

資料: ※1 大阪市計画調整局「事業所・企業統計調査」

※2 大阪市民局「区政概要」より作成